

今年ももうすぐ「もみじ市」

★ たかはたまさお
年に一度のもみじ市の季節が近づいてまいりました。今年は十月十三、十四日の二日間、例年と同じく多摩川河川敷で行われます。僕にとっては一年でもっとも重要なイベントで、出店は今年で五回目です。とにかく（天気が良いれば）会場の雰囲気が高、出展される作家さんも最高なので、ぜひ時間と体力に余裕があれば、無くても多少の無理がきくので

今年のもみじ市の担当をさせていただく伊藤です。何回も出店されているもみじ市ベテランの高旗さんの担当をさせていただくことになり、私自身は入社後初めてのもみじ市に不安やら緊張やらでドキドキしています。最初の打ち合わせはまだ肌寒い四月のある日、ご自身で考えられた構想を紙に描いてきてくださり、お話している最中にもやりたいことやアイデアがどんどん湧き出ていました。キラキラと目を輝かせて楽しそうに話す高旗さんの姿を見ているだけで、当日を想像してとてもワクワクしてしまいました。

三ヶ月後のもみじ市がどんなものになるのか今から楽しみでなりません！（伊藤）

担当伊藤の「のびしろ」もみじ市。

もみじ市に出店する作家にはもみじ市主催の手紙舎さんから担当がきます。伊藤さんにとっては僕はもうベテランと思われるのですね。いつまでもベーパーのようではないかなですね。がんばります。（高旗）

準備号
2018年7月



あればぜひ来ていただける大変ある。高旗さん、今年のもみじ市は毎年テーマが決まらされていて、出店者はそのテーマを意識しながら制作をしています。今年のテーマは「ディスカバリー」です。まだ僕自身ディスカバリーにピンときていない所

高旗将雄（たかはたまさお）
一九八六年七月二九日生まれ。獅子座の寅年。愛知県岡崎市出身。神奈川県在住。自称イラストレーター。趣味は木彫りの熊集め。甘いものが大好き。

あるのですが、季節が少し涼しくなる頃には人様にお見せ出来るような物が準備できるといいなと思っています。この新聞は毎月制作物の進捗をお知らせしながらご機嫌を伺っていくという、そのような新聞です。テーマの「ディスカバリー」にかけて、旅行先で発見した物や、僕が普段使っているもみじ市出店作家さんの作品等を紹介していければと思っています。是非あまり期待せずに次回も読んでもらえると嬉し

最近の製作中

新しい物を鋭意製作中です。ディスカバリーといえば探検。アウトドアに持っていけるようなマグカップを作っています。作っていますというか、すでに完成しています。プラスチック製の保温もできるマグカップです。色も色々。スタックも出来て使いやすいと思います。あとはパッケージだけ。もみじ市前に販売するかもです。

保存缶はリニューアル予定です。

今まで猫と熊の2種類の保存缶を販売していましたが、少し大きくして200グラムのコーヒー豆がぴったり入るくらいの大きさにしようと思っております。絵も熊と何かの2種にしたのですが、迷い中です。

保温マグカップ



DINEXのマグ。



おくづけ

六月は北京や北海道に行ったりして半月ほど部屋を空けていたため時間が取れず、この新聞は慌てて作られています。もみじ市で僕を担当している手紙舎の伊藤さんには迷惑かけっぱなしです。でも北京と北海道はとても楽しかったです。それが今後の作品に上手く反映できれば良いのですが。二〇一八年七月一日

北京面白乗物絵

トロリーバス

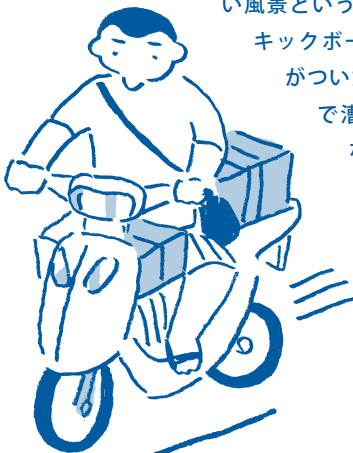
北京の街中を走るバスが架線から電氣を取って走るトロリーバスでした。架線がある所では電氣で走り、無い所では普通の自動車のように走るハイブリッドでした。日本では黒部ダムでしか走っていないので、沢山走っているところが見られて少し興奮しました。

先日展示のために北京に行ってきました。中国といえば自転車という古いイメージでしたが、自転車はあまり走っておらず、代わりに日本ではなかなか見ない面白い乗り物がたくさん走っております。いくつかご紹介したいと思います。

電動バイク

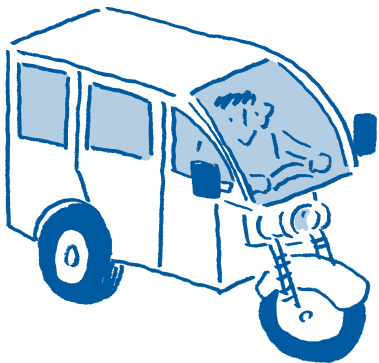
環境の為だと思うのですが、ガソリンで動くバイクが法律で禁止になったらしく、とにかく北京は電動バイクが沢山です。老いも若きも男も女も乗っています。自転車に代わる中国の新しい風景という気がしました。

キックボードにモーターがついた物や、ペダルで漕いで進める物など様々な種類がありました。免許もいらなようなので、僕も1台ほしいです。



三輪車

おそらく電動バイクを改造して作っているのではないかと思います。バイクタクシーのような感じで走っていました。ちょっと乗ってみたかったです。



タクシー

とにかく恐ろしい乗り物です。信号をガンガン無視していくのでヒヤヒヤします。恐ろしいのは現地の人にとっても同じようで、みんなスマホのアプリでタクシーを呼んでいます。スマホで呼ぶものすごくちゃんとしたタクシーがやってきました。料金が日本と比べるととても安いので気軽に乗れます。

マリオカートみた!!



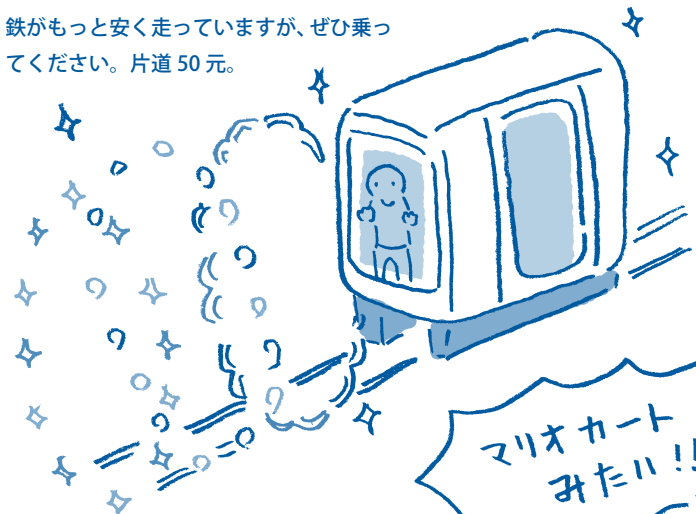
中国には日本と言う新幹線に寝台車がついたものがあります。日本ではほとんどなくなっていく寝台車ですが、北京と上海間に新たに新型車が出来たので乗ってきました。カーテンで個室に分かれているので思ったよりも快適です。十時間以上かけて北京から上海へ走るの、高速鉄道の意味があるのか疑問ではありますが、早朝に上海に着くので観光には便利です。

寝台高速鉄道



71 タン 外灘観光隧道(上海)

これは上海の乗り物ですが是非オススメしたいです。乗車時間は5分ほどで川底のトンネルをただ走るだけですが、こんなに怪しい乗り物はもう日本ではなかなか無いと思います。同じ所を地下鉄がもっと安く走っていますが、ぜひ乗ってください。片道50元。

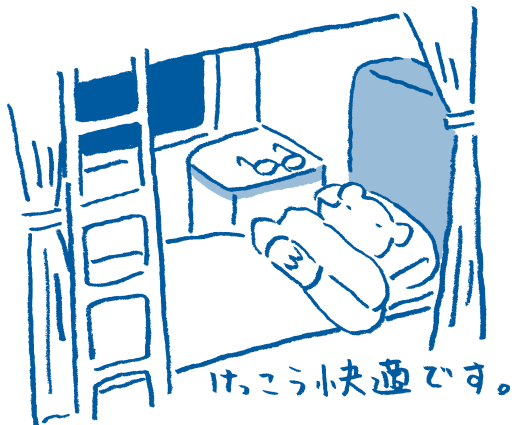


警備がキビシ



北京はいたる所で荷物検査があり、天安門広場などの観光地だけではなく駅や改札でも空港のようにカバンを機械に通してチェックされます。ここでもたつくと人が多いので長蛇の列ができてしまいます。街歩きはなるべく余計なものは持たず、さっと降ろせるような荷物をお勧めします。

おしまい。



けっこう快適です。